

2023年度もしくは、2024年10月～2025年4月までに糖尿病教育入院をされた患者様、
またそのご家族様

7階東病棟では社会資源の活用などのサポート介入が必要な糖尿病患者様に対し、療養環境調整に重きを置き、入院早期より多職種で対応していけるよう、2024年に糖尿病環境調整パスを作成しました。今回の研究では、糖尿病環境調整パスを新規導入したことで従来の糖尿病教育入院パスと比べ、患者様の療養環境の向上を図れたかを調査したいと考えています。そのため関係各位のご協力とご理解をお願いします。

本研究は大分県立病院倫理委員会の承認を受け、実施いたします。(承認番号 7-101)

〈対象となる方〉

2023年4月～2025年4月までの間に糖尿病で教育入院をされた方。

〈研究テーマ〉

新規導入した糖尿病環境調整パスの有効性の評価。

〈目的〉

糖尿病環境調整パスの有効性と課題を評価し、クリティカルパスの更なる改善や向上を目指します。

※クリティカルパスとは、特定の疾患に対して、入院から退院までに行われる検査や治療、看護ケアなどの標準的なスケジュールを時系列に沿ってまとめたものです。

〈研究方法〉

電子カルテ上より情報収集を行います。

(性別、年齢、既往歴、合併症、在院日数、検査データ値、認知症の診断の有無、身体障害の有無、介護保険申請状況、医療ソーシャルワーカー介入の有無と介入までの日数、インスリン使用の有無や内容、家族構成やキーパーソン、在院日数など)

※医療ソーシャルワーカー (MSW) とは、保健医療機関等において患者さんやその家族が抱える経済的、心理的、社会的な問題について社会福祉の立場から相談や支援を行う専門職のことを指します。

〈研究期間〉

2025年4月～2026年3月

〈個人情報保護の方法〉

- (1) 電子カルテより収集した情報は個人の特徴ができないよう匿名化します。
- (2) すべての情報は本研究位階の目的での使用はしません。

(3) 情報収集した内容や電子媒体（USB）は研究者が鍵のかかる場所に保管し、研究終了後5年間保管したのちに全て削除します。

〈研究結果の公表について〉

2026年1月24日に院内で研究発表予定。その他関連学会で発表予定です。

上記内容にご同意いただけない場合は、下記電話番号にご連絡いただきますようお願いいたします。

〈研究チーム〉

7階東病棟看護師 吉村春花 佐藤美里 河野小百合
病棟看護師長 久保真佐子

〈問い合わせ〉

大分県立病院 7階東病棟
TEL：097-546-7259